

はるひ野小中学校

■学校概要

学校規模	【小】普通:28学級(771人) 特支:4学級(20人) 【中】普通:15学級(372人) 特支:4学級(18人)
学年の区切り	4-3-2
開校年	平成20年(2008年)
構造・階数・ 延床面積	RC造・地上4階・17,459㎡
複合施設	地域交流センター

■教育上の特色

教育目標は「知力」「心情」「体力」「小中連携」がキーワードとなっており、楽しく学び、助け合い、明るく、だれとでも仲良く、という学校方針である。学習発表会や音楽集会等、各種行事を小中合同で行うほか、異学年を招待して行う授業を日常的に実施するなど、児童生徒が自然に交流しながら、学校方針を実践できるよう、様々な活動を積極的に取り入れている。

■背景

平成2年から土地区画整理事業が進められた川崎市麻生区黒川・はるひ野地区に、街づくりの核となるべき公共施設として、小学校の建設が予定されていたが、地域の要望により中学校も同時に建設することとなった。その後、学校建築の有識者も加わる基本計画検討委員会での議論を経て、平成19年1月にPFI事業として学校建設に着手し、平成20年4月に小中連携校として開校した。



多目的ホール



地域交流センター

はるひ野小中学校

(神奈川県川崎市 人口153.2万)

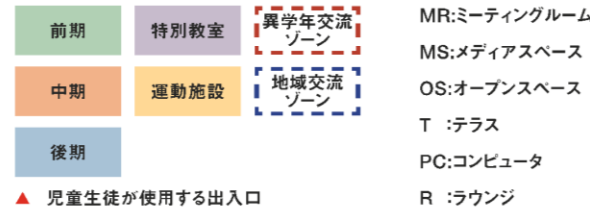
■施設上の特色

- 平成20年に開校後、当初予想を上回って児童生徒数が増加したため、平成26年4-3-2の学年段階の区切りを保つような増築・改修を実施。校舎は中庭を取り囲む4棟に加えてグラウンドにE棟を増築し敷地も拡充している。

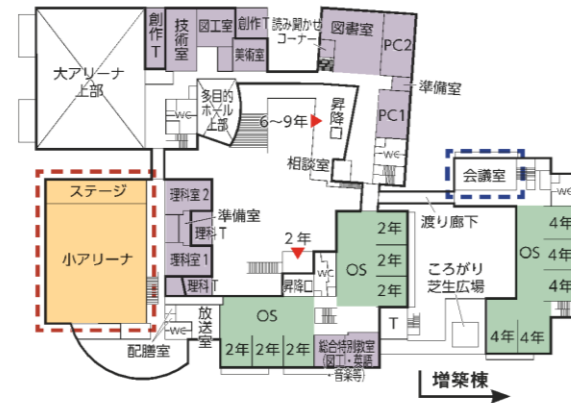
- 小中の職員室(校務センター)を一体化し、校門、中庭、校庭が見渡せるB棟1階に配置し、A棟1階には、地域交流センター、わくわくプラザ等を設け、**学校が地域コミュニケーションの核として機能**できる整備を行っている。

平面図

【凡例】



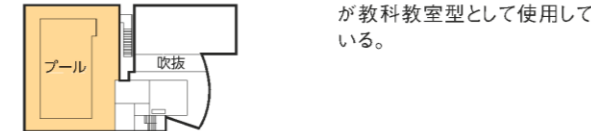
【2階】



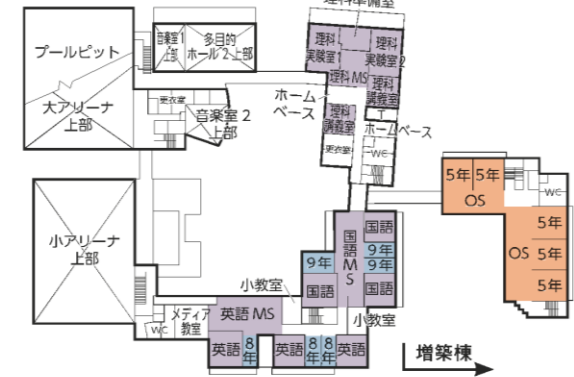
【1階】



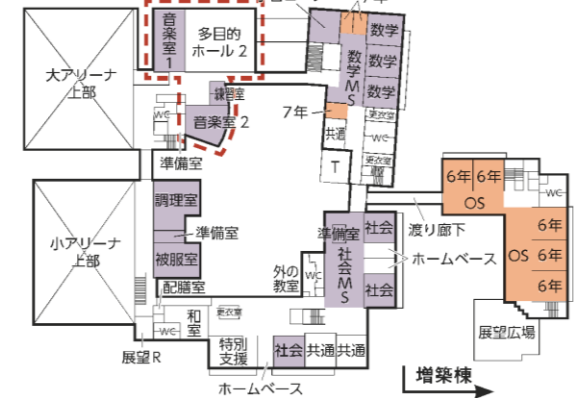
【屋上】



【4階】



【3階】



(出典)小中一貫教育に適した学校施設の在り方について(文部科学省)

■施設上の特色

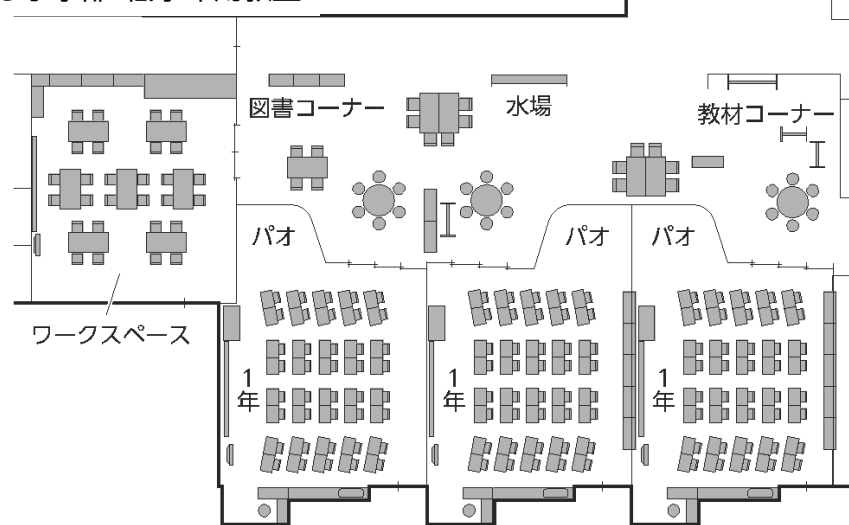
【小学部:低学年用教室】

- 小学1～2年生の教室は、教室内に様々な機能を内包させるため高学年教室より広くゆったりとしたつくりになっている。
- パオという小さなスペースを教室内に設置することで、多様な学習活動を可能にするとともに、集団生活、学校生活に慣れるために子供が自分で居場所を選択できるよう工夫している。

【中学部:教科教室】

- 中学部は教科教室型であり、各教科教室のほか、教科ごとにメディアスペースや小教室等が設置されており、生徒の多様な学習を可能としている。
- ホームベースと各教科教室は、間仕切りを開けば一体的に利用することも可能となるなど、様々な用途に応じられるつくりとなっている。

○小学部:低学年用教室



○中学部:教科教室

